

新刊のご案内

2025年6月13日出荷開始

女も男も No.145 2025年 春・夏号

生理について話そう



コロナ禍では「生理の貧困」が注目され、その後、生理をめぐる様々な社会課題が明らかになってきました。本号では、PART 1で、職場における生理と健康をめぐる認識の変化や生理休暇の再設計が進む様子を取り上げました。「母性保護」の一環としてつくられた生理休暇は、今、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点からの見直しが求められています。PART 2では、新しい生理の授業の提案と実践を紹介。特に中高校生が同世代向けに行った授業には、「生理のタブー視」を解消するヒントが詰まっています。生理からジェンダー平等や多様性について考える一冊です。

女も男も編集委員会 編 / B5判・96ページ・並製 / 定価:本体1,800円+税 / ISBN978-4-8450-1012-7

主な内容

PART 1 生理休暇のいま、これから

〈労働組合のとりのくみ〉

生理休暇は働き続けるうえでの基本のキ
連合東京

〈労働組合のとりのくみ〉

教職員も子どもも生理休暇を取れる学校に
日本教職員組合女性部

〈企業のとりのくみ〉

生理のつらさを我慢しない社会、職場を目指して
株式会社ツムラ

月経の健康をめぐる世界の動向と日本の課題

所 浩代 (福岡大学法学部教授)

生理でつらいなら婦人科に行こう

飯田 美穂 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室)

PART 2 生理の授業とジェンダー

生理の授業を考える

小貫 大輔 (東海大学国際学部教授)

人権・科学・自立・共生

西 真理子 (元養護教諭)

支え合いの社会を築いていきたい

CLAIR. (クレア)

「生理のタブー視をなくす」をテーマに

北原 琉愛 (筑波大学学生)

石本 由布子 (茨城県立牛久栄進高等学校教頭)

保護者の生理の知識をアップデートする

にじいろ (思春期保健相談士)

支え合うための月経教育

陸口 雄斗 (会社員)

PART 3 「生理」から見える日本社会の課題

生理のある身体も生きやすい社会へ

#みんなの生理 (塩野 美里、谷口 歩実)

アスリートと生理

下山田 志帆 (元サッカー選手)

ご注文方法

ご希望の方法に
チェック
してください

直接取引 FAX 0120-999-968

(返品可/トランスビュー取引代行)

1冊からお気軽にご注文ください。

取次ルート FAX 03-3288-5577 (労働教育センター)

(返品可/日販・トーハン・楽天BN・中央社・日教販・大学図書)

直取引代行
トランスビュー

BookCellar

貴店名(番線印)

注文数

女も男も No.145

冊

生理について話そう

ご担当者

定価:本体1,800円+税 B5判・96ページ・並製

様

ISBN978-4-8450-1012-7